

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	11.佐倉・城下町400年記念事業						
項	5.社会教育費	細事業名							
目	2.文化財保護費	担当課・係	文化課	(執行課: 文化課)					

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業							(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	1,010	要求								1,010
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/個性ある文化を創造し、継承するまちづくり/地域の歴史、文化に愛着の持てるまちにします							
	【佐倉・城下町400年記念事業】	施策体系コード	03-05-02-20-20			事業番号				
	佐倉の近世のあゆみを中心に事業を展開し、近世初期における佐倉の具体像を広く紹介します。	総事業費	1,010			事業期間	平成22年度			
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
			0	0	0	0	1,010			

(事業実施に関する根拠法令)

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 佐倉城築城とその城下町整備は、初代城主である土井利勝が1611年に開始し、1618年に完成したと記録されている。土井利勝は、その前年1610年に佐倉の領主となっている。 平成22年は、土井利勝が佐倉の領主となってから400年であり、それを記念した事業を行う。また、今後の展示等の準備として資料調査を行う。	(事業の目的) 現在も城下町の面影を残す佐倉市においては、佐倉城築城と城下町整備は、佐倉市の都市計画、まちづくりの原点と言える。1611年は佐倉市のまちづくり元年、都市計画元年である。事業を行うことによってまちづくりと「歴史のまち佐倉」の原点の一つをあらためて市民に理解してもらい地域への愛着を深める。	(事業の効果) まちづくりと「歴史のまち佐倉」の原点の一つをあらためて市民に理解してもらい地域への愛着を深める。 同時に市外にも「歴史のまち佐倉」をアピールできる。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項) 平成22年度は、佐倉城築城と城下町整備から400年を迎えること周知することに重点を置き、平成23年度以降も佐倉・城下町400年記念事業を行う。